

高知県ひきこもり地域支援センター 家族支援の取り組み

高知県イメージキャラクター
くろしおくん



高知県ひきこもり地域支援センター
(高知県立精神保健福祉センター)



中央東福祉保健所

中央西福祉保健所

須崎福祉保健所

安芸福祉保健所

幡多福祉保健所

高知県ひきこもり地域支援センター
(高知県立精神保健福祉センター)

高知県立精神保健福祉センター

メンタルヘルスや心の悩み全般に関する相談窓口

ひきこもり地域支援センター

平成21年4月～

高知県自殺対策推進センター

平成21年4月～

高知県依存症相談拠点機関

平成30年4月～

新型コロナウイルスにともなう 心のケア相談窓口

令和2年3月～

高知県ひきこもり地域支援センター 職員体制



所長（医師）

多職種での
支援



精神保健福祉士



作業療法士



保健師



心理士



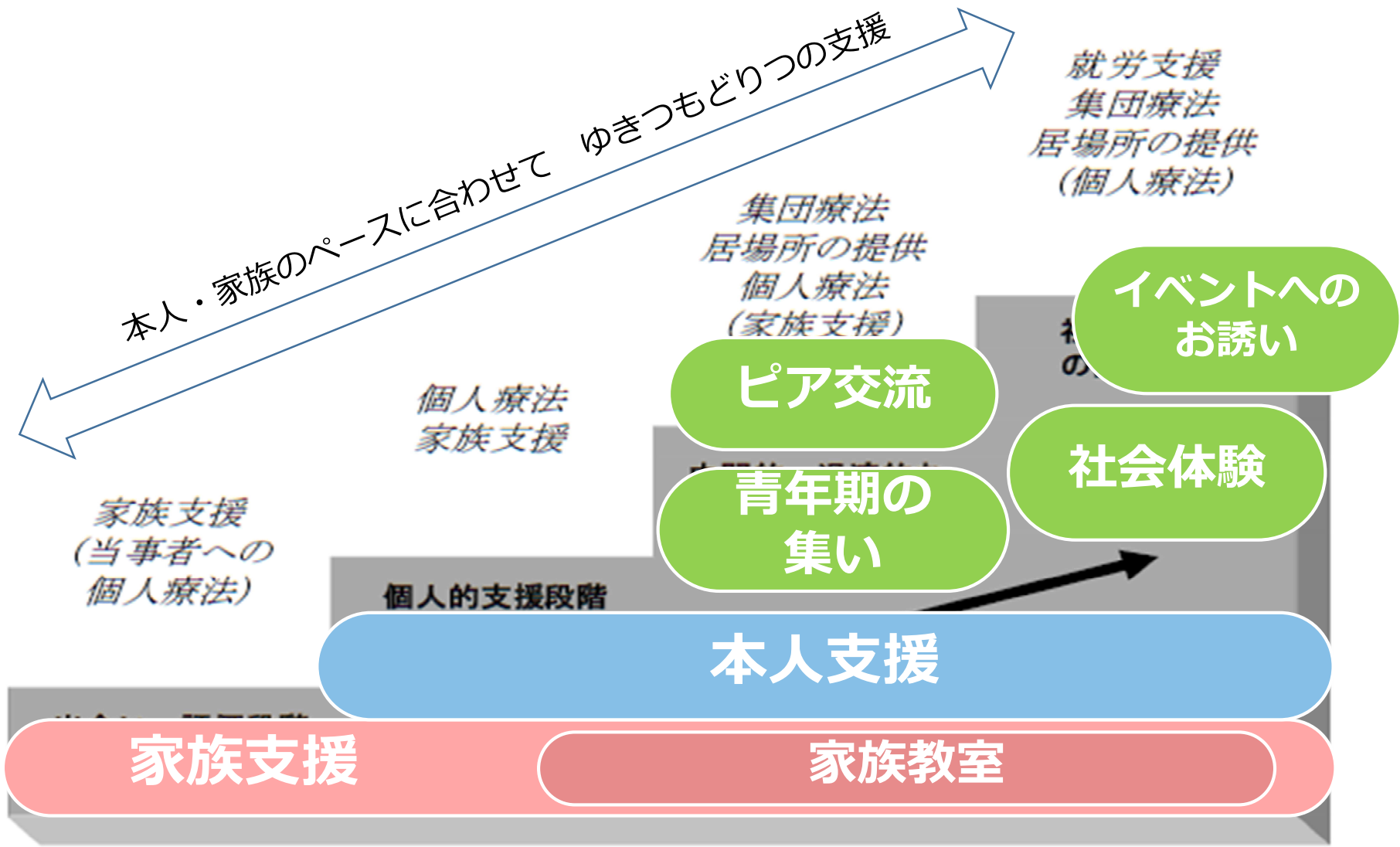
社会福祉士

5名で分担して、ひきセン業務

* 精神保健福祉センター業務と兼務

高知県ひきこもり地域支援センターの主な事業

<p>ひきこもりの 『当事者・家族等』 への支援</p>	<ul style="list-style-type: none">○個別相談（電話・面接）○居場所づくり○企業・事業所での社会体験○体験者による個別交流○家族教室（相談者対象）○普及啓発・講演会（ひろく県民向け）	<p>対象者の思いや段階に 応じて支援</p>
<p>ひきこもりの支援 に取り組む 『地域』への支援</p>	<ul style="list-style-type: none">○支援者連絡会○人材養成研修○ケース相談、検討会への出席○研修会等の講師依頼○福祉保健所主催の研修会への参加、支援	<p>地域での取り組みを バックアップ</p>



ひきこもり支援の諸段階

家族支援について

1) 個別支援

家族を通して本人を理解

家族をエンパワメント（CRAFT等）

2) 家族教室

体験や対処スキルの共有、学びの場

3) 普及啓発活動

講演会、交流会、つながるVOICE

4) 家族支援を地域で

人材養成研修・ケース会など、地域支援

1) 個別支援

つながる期

- 家族を通して本人や家庭の状況を見る
(アセスメント→見立て)

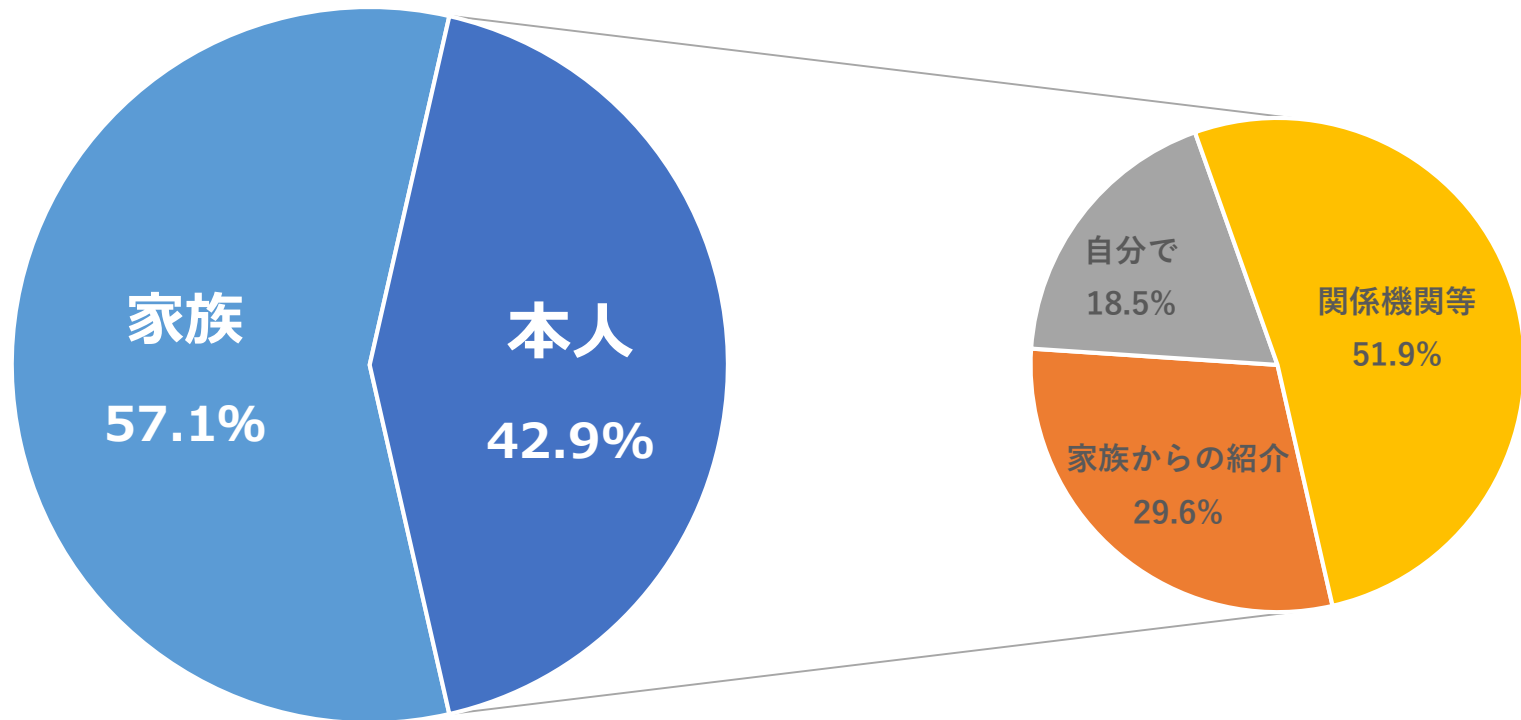
継続期

- 変化に着目し、工夫できることを探す
- 家族の元気を取り戻す

フォロー期

- 家族→本人へのつながり
- 継続して家族とつながる

初回相談の家族・本人比（R3年度）



多職種チームの強みを活かして①



所長（精神科医）

医師として、精神医学的な見立てはできるけど…
家族支援を継続するために、ここからどう繋げていこうか？



作業療法士

作業療法士の得意とする、プログラムを立てて
行う面接へ移行（身体を動かす、CRAFT等）

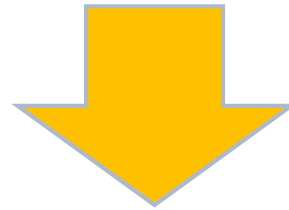
多職種チームの強みを活かして②



保健師

家族支援

出会い期から家族を支え、大変な気持ちに寄り添う
まずは家族が元気になるための支援を継続…



本人支援

家族→本人に繋がった後、
居場所や社会資源をコーディネートしながらの支援



精神保健福祉士

2) 家族教室

- 回数：年2～3回実施
- 対象：10～20代のひきこもりの子どもを持つ親（10名以内）
- 内容：勉強会
→講義「ひきこもりの理解」等
当事者の経験談
テーマトーク、フリートーク



本人とのコミュニケーションで工夫している点は？ どう声かけしたら…



本人と兄弟の関係性は？
普段の家族の様子を知りたい



本人がエネルギーがたまってきたかどうか
どうすれば分かる？



親自身の楽しみはどんなこと？



家の中で本人が自ら取り組んでいることはあるか？

3) 普及啓発活動

講演会、交流会（ひろく一般県民対象）

つながるfesta
～ひきこもり講演&交流会～

第1部 講演 13:00～
一般社団法人hito.toco 代表理事 宮武 将大さん

第2部 交流 14:30～
♪ワールドカフェ(グループトーク)
♪出張版『青年期の集い』
♪DVD上映『みんなピアでえいやんか』(定員:20名)
♪オーナピア出展区画 ♪作品・ポスター展示

令和4年
9/28 (水)
13:00～16:15(12:30～受付)
この機会にぜひセンター・ソールレ編 (電話予約03-115)

定員 80名

募集 展示ポスター・作品
詳しくは募集要項をご覧ください

3紙の7必ずお読みください(見せごっこ投稿の上、できるだけお申し込み下さい)
※当日参加も可ですが、定員数の関係でお断りする場合があります。

お申し込み 無料

9月27日〆切 (手紙投稿・要約筆記など応募の方は〆切:9月14日)

主催
豊田県立精神保健福祉センター
(豊田県ひきこもり支援センター)

グループトーク ワールドカフェ
一つのテーマに沿って、各テーブルごとに自由に会話をします。
「孤独」や「経験」にたどり着くための糸球では語りません。術高で気遣いに配慮をするように、相手の声、自分の声に耳を傾けてみましょう。
ラウンドごとのご参加も可能です。

出張版 青年期の集い
いつものグループ室から飛び出して、人気のボードゲーム部、室の活動を行います。
今回は、新しいメンバーだけでなく、ご家族やご近所などつながるfestaの参加者ご家族でも来ていただけます。

DVD上映 定員20名
『みんなピアでえいやんか』
所蔵館本・監督、目録センター監修も出演しているで是非上映いたします。

募集 展示ポスター・作品
誰人でも団体でも構いません。日頃の活動や表現をみんなにみてもらおう！

★活動報告ポスター
サイズ:タテ79cm×ヨコ110cmまで

★作品
プラモデル、コラージュ、絵画、手紙、写真などなど

講演&交流会として…

- ・出張版居場所
- ・ワールドカフェ
- ・DVD上映
- ・関係機関活動報告ポスター、相談者の作品展示 など

つながるVOICE ～家族の声～

つながるVOICE ～家族の声～

2021.10.1 つながるフェスタ

初めて相談に来られた方、久しぶりで、お目覚めが良かった。

家族とこれからの生活を見守るサポート
相談員（看護師）室田さくらさん
TEL: 086-521-4308

聞いていただくこと

- ご本人が大切にしたいこと、動けなくなってきたこと
- 相談に来たきっかけ
- 家族に相談に来てほしいこと、感じること
- ご自身で相談に来てほしいこと
- 家族がしたいこと、これから相談される方へのメッセージ

「自分も介護が必要になったら、どうやって介護を受けたいか、誰に介護してほしいか、などについて事前に話し合っておくことが大切です。また、介護を受ける側の気持ちや、介護を受ける側の負担を減らすための工夫についても話し合っておくことが大切です。」

相談員 室田さくらさん
本人 40代・男性

～つながるVOICE～

- ご本人がひきこもっていたとき、動けなくなっていたときの気持ち
- 相談に来てみたきっかけ
- 実際に相談に来てみて感じたこと
- 続けて相談に来てみての変化
- 悩まれている方、これから相談される方へ

～その後のVOICE～

- 相談に来る中で、変化があったこと
- 新しくはじめたこと
- 力を入れていること、頑張っていること、心がけていること

家族

その後のVOICE

「相談に来る中で、変化があったこと、新しくはじめたこと、力を入れていること、頑張っていること、心がけていること」

相談員 室田さくらさん
本人 40代・男性

つながるVOICEより一部抜粋

- すごく心が楽になった。自分一人で抱え込んでいたけど、私自身の心が潤った。何十年もあまり人と付き合っていなかった中、相談員さんと知り合って、話げできた。
- 人の意見を聞いて知恵をもらったり、視野が広がった。気持ちが楽になった。
- 子への親としての接し方をすごく意識するようになった。そうすることで自分の感情のコントロールもできるようになった。
- コミュニケーションプログラムで話し方、応じ方、心の持ち方などのスキルを教えて頂いたおかげで、本人の気持ちを考える余裕が少しでき、初めて「しんどかったね」「分かってあげられなくてごめんね」と伝えられた。
- 少しずつ、本なども読んで自分の息子に対するまなざしが変わった。ありのままを肯定してやろうと思い、過ごせるようになった。
- 息子ももうこんな歳かと思うけど、前に比べたら、開き直ったというか、心が楽になった。自分自身が変わったのかなと思う。

4) 家族支援を各地域で (人材養成・ケース検討会)

令和元年度 第1回ひきこもり支援に関する研修会

↓

ひきこもりの相談、支援は目に見えた変化が起きにくいと感じ、介入のタイミングや連携のあり方に迷うことがあります。そのため、本人や家族などのように関わりを持ってほしいのが理解を求め、支援について考える研修会を開催します。↓

実際に役立つヒントが多く見つかると思います。ひきこもり支援に関わる多くの支援者の参加をお待ちしています。↓

↓

↓

日時：令和元年6月17日(月) 13:30~16:30 ↓
 場所：高知城ホール 大会議室 (高知市丸の内2-1-10) ↓
 対象者：ひきこもり支援に関わる関係機関職員、福祉・保健・就労等の相談・業務にあたる職員等 ↓
 主催：高知県ひきこもり地域支援センター(高知県立精神保健福祉センター) ↓
 定員 100名(先着順) 申込締切 6月7日(金) ↓

講師：境 泉洋 先生(臨床心理士) ↓
 宮崎大学教育学部 准教授 ↓

内容：①講義「ひきこもりの理解と支援 -最近の動向をふまえて-」 ↓
 ↓
 ②質疑応答・意見交換 ↓

↓

↓

↓

↓

なお今後、県下2カ所にて、事例検討を通じた研修会を開催予定です。 ↓
 第2回：令和元年9月30日 幡豆園にて事例検討に関する研修会(予定) ↓
 第3回：令和2年2月頃 中央学園にて事例検討に関する研修会(予定) ↓

↓

宮崎大学 境 泉洋先生
 『CRAFT』

令和4年度 第2回ひきこもり支援に関する研修会



「ひきこもり研修会、事例検討を通じた研修会」は、多くの方に参加いただき、目に見えた変化が起きにくいと感じ、支援のあり方に迷う方が多く、介入のタイミングや連携のあり方に迷う方が多くあります。 ↓

研修会、本人や家族などのように関わりを持ってほしいのが、事例研究の取り組みを通じて、実践の事例を通じた研修会を開催します。 ↓

実践の事例を通じた研修会、事例研究の取り組みを通じて、実践の事例を通じた研修会を開催します。 ↓

実際に役立つヒントが多く見つかると思います。ひきこもり支援に関わる多くの支援者の参加をお待ちしています。 ↓

↓

日 時：令和4年11月25日(金) 13:00 ~ 16:00 ↓
 場 所：こうち男女共同参画センター1階 3階大会議室(高知市丸の内2-1-10) ↓
 対象者：ひきこもり支援に関わる関係機関職員、福祉・保健・就労等の相談・業務にあたる職員等 ↓
 ↓
 主 催：高知県ひきこもり地域支援センター(高知県立精神保健福祉センター) ↓
 定 員：50名(先着順) 申込締切 11月15日(金) ↓

講師：長谷川 俊雄 先生(社会福祉士・精神保健福祉士) ↓
 白梅学園大学 子ども学部子ども学科 教授 ↓



1976年生まれ。1997年より精神保健福祉士として活動。福祉事務所・福祉センター勤務。その後、精神科クリニックのソーシャルワーカーとして勤務。 ↓
 2002年より白梅学園大学子ども学部子ども学科に勤務。2018年より現職。 ↓
 児童発達支援センター・グループホームの運営に携わっている。また、児童相談所、児童福祉施設、自立支援センターなどで相談と支援に取り組んでいる。 ↓

内 容：①講義 ↓
 『事例研究は援助者の視点と支援を洗練させる ↓
 ~理解と解釈の広がり育てる方法~』 ↓
 ↓
 ②演習 事例研究 ③実際の事例を通じた研修です ↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

↓

白梅学園大学 長谷川 俊雄先生
 『事例研究』

家族支援をつなげていくために…

受容

励まし

労い

継続した見守り
本人・家族⇔支援者がつながりを
持ち続けられるように



ご清聴
ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします。

高知県

